※ 赤字は県内医療機関

病院名	領域			2年度專攻医数(1年目)(R2. 7. 1時点)			令和3年度專攻医數(2年目)(R3. 6. 1時点)
濒阮 名	被攻	1	基幹施設 連携施		基	幹施設	
	内	26人	26人 —		26人	9人	南奈良3、市立奈良2、奈良総合4、 17人 西和4、済生会中和、 済生会吹田2、ベルランド
	小 児 科	4 7人		大人 奈良総合、南奈良、西和、国保中央 八尾市立2、市立東大阪	7人	4人	2人 奈良総合、八尾市立 ※1名中断中
	精 神 科	4 6人	6人 —	7 NO 11-11-11 TO 12 TO 1	6人	1人	5人 天理よろづ、やまと精神、万葉クリニック 三重県立こころの医療センター、垂水
	外	1人	1人 —		1人	_	1人 土庫
	整 形 外 科	4 8人	2人	;人 <mark>西和、南亲良、济生会亲良、</mark> 松阪、岡波総合、大阪暁明館	10人	-	秦良総合、済生会奈良、阪奈中央、南奈良、 10人 西和、国保中央、市立奈良 岡波総合、大阪暁明館、松坂中央総合
	産 婦 人 科		1人 -		1人	-	1人 近大奈良
奈良県立医科大学附属病院	麻 酔 科 救 急 科		4人 -		5人	2人 1人	3人 <mark>市立奈良、</mark> ベルランド、東大阪医療センター
东以宋立 <u>位</u> 17八十四 周	皮膚和		1人 -	※1名育休中	1人	1人	_
	眼		5人 —	W. BBB.	4人	3人	1人 市立奈良
	耳 鼻 咽 喉 科				_	-	-
	泌 尿 器 科		4人 —		3人	_	3人 松坂中央、大阪暁明館、大阪市大
	脳 神 経 外 科 放 射 線 科			人 市立奈良	3人	- 2 1	3人 市立奈良、平成記念、大阪急性期総合医療センター
	<u>放</u> 射線 科 病 玛		6人 — 1人		1人	3人 1人	3人 <mark>西和、高井、</mark> 済生会吹田
	臨床 検査				-	_	_
	形 成 外 科 リハビリテーション科	4 –			1人	_	1人 奈良総合
	総合診療科	-	1人 -		1人	1人	-
	小計	76人	61人 14人		77人	26人	50人
奈良県総合医療センター	内科			人南奈良	2人	1人	1人 南奈良
	<u>小</u> 児 科 外		1人 — 1人 —	※1名中断中	1人	1人 1人	
	産婦人科				-		
	麻醉科		1人 —		1人	1人	_
	救 急 科		2人 —		2人	2人	_
	小計	8人		人	7人	6人	1人
	内		1人 -	1 4 4 - 1	1人	1人	_
市立奈良病院	整 形 外 科 救 急 科			人 <mark>奈良医大</mark>	1人	1人	_
	形 成 外 科		1人 -		1人	_	1人 大阪医科薬科大学病院
	総合診療科		3人 —		3人	1人	2人 都形診療所、久米島病院
	小計	6人		人	6人	3人	3人
天理よろづ相談所病院	内		8人 —		8人	8人	-
	小 児 科					-	
	外 中 唐 秒		2人 —	1 克和士学医学如附属存贮	2人	1人 1人	1人 富田市立
	皮 膚 科 総 合 診 療			人 京都大学医学部附属病院 人 産業医大病院	2人	1人	
	臨床検査科		.,,		-		-
	小計	13人		人	13人	11人	1人
	内			2人 近大病院	7人	2人	5人 天理よろづ、奈良医療センター、 近大2、住友
近畿大学奈良病院	皮膚科					_	_
	<u>放射線</u> 小計	5人	3人 :			2人	5人
ー 南奈良総合医療センター	総合診療	†	1人 —		1人		
上庫病院	総合診療	1		人 大和高田	1人	1人	
			1人 -	八八州岡田	1人	1人	_
						_	
大福診療所			2人 —		2人		2人 土庫、市立奈良
やまと精神医療センター	精神科					-	-
奈良県西和医療センター	内	1人	1人 -		1시	1人	-
五条山病院	精 神 科	 			_	-	_
白庭病院	整 形 外 科	4 –			_	_	_
合	<u></u>	114人	91人 2 ⁻	人 うち 県内11人 ※1名育休中、1名中断中	116人	51人	62人 <mark>うち 県内41人 ※3名中断中</mark>

分析

- 令和2年度に研修を開始した専攻医について、 研修1年目は102人(89.5%)が
- 県内基幹・連携施設で研修を実施していたが、 研修2年目は92人(79.3%)が
- 県内基幹・連携施設で研修を実施している。
- 連携施設での研修実施が多くなる2年目において、 一時的に県外の連携施設に配置されている専攻医が 増えていることが見受けられるものの、約7割以上が 県内に留まっており、概ね地域医療に配慮した専攻医 配置となっている。